

学び舎ひまわり第5講 開催報告

私の地域「マイプラン」を作ろう！

DATA

日時 平成28年 11月 20日(日) 10時~16時15分
会場 港南区役所別棟201・202会議室
受講生 32名(地域 19名 ケアプラザ 6名 区役所 7名)

グループ内でマイプランのブラッシュアップ



共通するテーマごとに4つのグループにわかれて、おたがいのマイプランを聞きながら、いいと思ったところやこうした方がもっと良くなるなどのアドバイスをし、自らのプランをブラッシュアップしました。

マイプラン全体発表(全12名)

1グループ テーマ:自治会改革・担い手

「『住民同士の“ふれあい”』事業遂行への活動切替」



奈良 幸則
(大久保最戸)

古くから住んでいる人と転入者の融合がうまくいってないことが課題に感じています。若手の住民が参加しやすい運営体制を作るために、働いている人も意外と空いている土曜日の夜に会合を開催したり、活動計画をしっかりと作り、いつまでに達成するか、いつフォローをするかを宣言し、月例会の中で決めていくような基盤をつくりたいと思います。

「ゴミ集積ボックスと掲示板の設置と電子ネットワーク」



中村 宏一
(港南台)

町内会で情報の伝達を一つにしたいと考えています。回覧板は、回しても良く見ていないけれど、みんなが良く見ているのはゴミ集積所。掲示板をゴミ集積ボックスに設置することで、情報がより良く届くのではないかと思います。また、インターネットを使い、ネット上の掲示板(クラウド)を作るということも考えています。結果をずっと貼っておけるという状況がこれからの活動を補助するためには必要だと思います。

内海先生のコメント

担い手が減っている中で、なかなか新しいことが始めにくくなっています。自分の自治会では、会合の日時を働いている人も参加できるように変えたことで、参加率が高まりました。また、ネット上の掲示板にあげると同時に、紙ベースのものをゴミ集積所に掲示し、ネットを使えない人にも拡散できる。多くの地区が抱えている担い手不足問題の解消に、面白い切り口だと思います。

2グループ テーマ：魅力（環境・行事など）

「公園あそびでの縁日イベント」



三浦 友美子
（下永谷）

子ども向けの公園遊びにはなかなか人が集まらないという課題があります。しかし去年『外遊びキャンペーン』にたくさん集まったのをきっかけに、イベントを行うことを考えました。そこでお祭りのような楽しい企画を考えてみました。縁日のような、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなどをして、将来的には小中学生にお祭りのお手伝いをしてもらったり、乳幼児の集まるママの情報を集めて楽しいプランを作りたいです。

「住んでいるまちをゆっくり眺め魅力あるまちへ」



田上 京子
（上大岡）

まち歩きをしてみて、私は今住んでいるところは交通の便や環境的にとても住みやすく良い場所だと思いました。自治会のみんなが住みやすい街であると共通認識を持ち自分の街を好きになってくれたら、活動しやすいのではないかと思います。また、住民が変わるにつれ通りの名前が人によって通じなくなってしまいました。そこで、2つの坂、3か所の通りに愛称をつけたいと思います。

内海先生のコメント

若い頃坂の上に家を買って、高齢になってからは階段を上って来る人にベンチを置くなどの工夫が必要になってくると思います。通りに名をつけることでだんだん地域の皆さんの誇りになっていくと良いと思います。子どもの好きな落ち葉プールなどプログラムを組みたてながら、子どもたちの外遊びを推奨・実践しより一層バージョンアップさせて、進めて欲しいです。担い手も中学生などと一緒にやると中学生の力も育めると思います。

3グループ テーマ：防災・見守り

「いっとき避難場所のKAIZEN」～安否確認時短ツールの検討～



井田 雅之
（永谷）

いっとき避難場所における要援護者対応のため、個人情報に配慮した名簿の作成が必要だと思っています。平日昼間地域に居ない人にとっては、いっとき避難場所に行っても誰が来ていないか分かりません。そこで、全ての家庭をナンバリングし、要介護、小中学生など記載、裏面にはいっとき避難場所を書くことを考えました。また「大丈夫バンダナ」を家の前に下げておくと、確認する家が少なく済むのではと思います。

「より良い災害時要援護者支援づくりをめざして」



網島 志保子
（永野）

災害時に、より被害を受ける可能性が多い一人暮らし高齢者、障害者の支援を目的に、ボランティアが困難な人達を知り、関係を深めるために、要援護者と顔を合わせてから講習会に行くことをすすめています。講習会では介護の方法等を学んでいます。避難する時の物品リストは、高齢者が多いので絵で書いて配りたいと思っています。ボランティアに対しては災害時に対して意識を強く持つてもらうために、講習会を行い、若い人の参加を促していきたいです。

内海先生のコメント

簡易ナンバー方式は初めて聞きました。名簿は個人情報の問題や刻々と変化していく情報をどう更新していくかが課題に上がってきます。外に向かっては番号しか出さない等どうリンクさせるかが大事なポイントとなります。町内会全体に名簿が渡るの嫌だが隣近所ならいいという人もいます。班長単位で情報を開示するところも少しずつ増えています。名簿作成と同時にいざという時に助けられるかは顔の見える関係がないと難しい。連続感を持って構築することが大切だと思います。

4グループ テーマ：居場所・見守り

「空き家を利用した集いの場づくり」



脇田 和郎
(日野南)

空き家問題に対する対応と、空き家の利用の仕方として、憩いの場を作ろうと考えました。空き家問題は防犯・防災に関しても放置できない問題であり、これからますます高齢化が進むと問題も増えていくと思います。今後、自治会でも放っておけないので、どういう形で所有者との間で話し合いを持ちながら進めていったらいいのかなという問題の捉え方です。

「地域住民の集まり場、顔の見える交流」



平野 真喜子
(芹が谷)

夏にラジオ体操をやったところ秋には「またやりますか」という声が聞こえてきました。これまで住民が集える機会が少なかったのですが、例えば集会所を開けて、たくさんの人に集まってもらうために、食を楽しむようなものがないかなと考えています。ヘルスメイトさんに応援を頼んでサロンの代わりになればと思います。団地の中で声を掛け参加を促せるようにしたいです。

内海先生のコメント

空き家の問題は、今年度からも市役所も対応していくことになりました。地域の拠点を作る時はどういう活動をするのか明確にすると、新しい担い手が登場しやすいです。家賃や運営費等の面では女性だけでなく、マネジメント力に優れている男性の力も必要だと思います。戸建ての空き家よりも共同住宅の空き室の寮の方が数倍多い。集会所を活用してサロンを開いたり、住戸で開いたりしているところもあり、家賃・水道光熱費等の補助をする制度もできています。

職員のマイプラン

「ネイル×中学生で地域に笑顔を♪」



田中 真樹
(下永谷地域
ケアプラザ)

地域の方から「中学生を地域の行事に呼びたい」という声を良く聞きます。そこでネイリストだった経験を活かして、ボランティアをしてくれる中学生を募集します。家庭で練習をしてもらうことで、家庭での笑顔も増えるし、ケアプラザのデイサービスや地域のお祭りでネイルブースを開いてもらうことも検討しています。ネイルをしない男性は、ハンドマッサージなども出来るので人気が出ると思います。

「～新鮮野菜で地域をつなぐ～『^{なかなか}菜果菜果や』」



安田 修子
(日下地域
ケアプラザ)

「地域でみなさん“なかなか”がんばっている」という意味を込めました。町内会館に向いてもらうには？買い物難民の人にどう食べ物を届けるか？若い人と町内会館をどうつなぐ？という問題に対して出来ることを考えました。家庭菜園をやっている家が、自由に野菜をもっていってもらうような仕組みを作ろうと思います。家庭菜園をしている人の生きがいづくりの促進、商店と協力も見据えています。

内海先生のコメント

ネイルで社会性が全面に出ることや、中学生から広げていくのは素晴らしい提案。また野菜の直売をやると人が出てくるのでイベントでは良く行っています。他区の野外サロンでは、人と話するのは苦手な引きこもりがちな男性高齢者が参加し大成功している事例もあります。子ども会に収穫祭を手伝ってもらい「ありがたう」という声を聞いてやめられなくなっているそうです。

「おやしパワーを地域で活かす」



鈴木 俊吉
(区職員・永谷担当)

現役世代のオヤジは地域との接点がないのかなと思っています。IT が良く使える、フットワークが良いといったところを活用しない手はないのではないかと。永谷連合のオヤジの会を作ったらどうかと考えました。お酒を交えた懇親会などイベントを含み、顔が繋がった中で、そっちのイベント手伝いにいくよ！とつながりを作って欲しい。こういう人たちが次の役員を中心となって役に立って欲しいと思います。

「地域活動を知って・見て・参加しよう！」



待永 直昭
(区職員・ひざり担当)

地域活動の担い手として子育て世代に協力をお願いするのも限界があるので、中学生に依頼したいと思います。地域活動マップの作成や活動見本市の開催、納涼祭などの人が集まる時を利用した方が目に触れやすいのかなと思います。また、子ども会に中学生も参加させてはどうかと思っています。自分が小学生の時に経験したことを体験でき、愛着等を感じることができないのではないかと思います。

内海先生のコメント

男性は雑談が苦手なので、農園農作業や IT など高齢男性が好きなテーマが設定されていると、地域活動に入りやすいと思います。永谷地区の玉興町内会青少年部のように、子どもの兄弟を部長に添え、お客さん扱いをしないと子どもも言うことを聞きます。子どもならではの工夫も大事ですね。

学びのまとめ 集計結果

回収数：31件 回収率：96.8%

満足	やや満足	やや不満	不満	未記入
22	8	0	0	1
71%	26%	0%	0%	3%

受講生の主な意見

- ◎色々な角度でプランを分析すると、見え方が異なることが、プラン全体を通して体験できた。
- ◎一生懸命考えていらっしゃるのが良く分かる発表が続き、とても良かった。これを実現できるように努力していけたらいいなと思いました。
- ◎他の地域も同じような問題を抱えていることが分かり、今後の活動の励みになりました。
- ◎すべての課題の根っこにあるのが「つながりの薄さ」にあるんだなあと思いました。
- ◎防災の取り組みを皆さんが真剣にされている様子を聞き、実践できると良いと思いました。
- ◎一人一人がわが町を良くしようと考え立案し、発言されたことが非常に参考になった。
- ◎誰もが関わる「食」「ゴミ」をキーワードに横つなぎを考えると良いアイデアが導けるかもしれないと感じた。